熱海所記念病院

ドライブシミュレーター

高齢や認知症で運転が不安・・・

危険予測など運転能力の評価・運転能力の訓練が可能

過去１０年間の高齢ドライバー事故の発生状況

静岡県警察ホームページより

29 社会 13版 2015年(平成27年)1月16日 金曜日

認知症疑い 高齢運転者に受診義務案

事故が心配でも不便

逆走 後絶たず

記憶力や判断力が低下し、交通事故を起こす恐れのあるお年寄りに車から降りてもらうにはどうしたらいいか。警察庁が導いた答えは認知症検査（認知機能検査）の強化だった。だが、車がくらしの「足」になっている地域もある。模索は始まったばかりだ。

7日未明、東京都板橋区の首都高速池袋線を軽乗用車が逆走し、大型トラックと大型トレーラーに相次いで衝突した。軽乗用車を運転していた茨城県の無職男性(83)が全身を強く打って死亡した。

男性は前日に1人で外出し、そのまま帰宅しないため、家族が茨城県警に捜索願を出していた。家族は警視庁に対して「認知症だった」と説明したという。

警察庁によると、高速道路逆走は2014年、207件あった。このうち、75歳以上が運転していたのは98件で、全体の47%を占めた。

交通死亡事故の件数と75歳以上の運転者による死亡事故の割合 警察庁まとめ

警察庁の改正道交法案

75歳以上の運転免許保有者に対する「認知機能検査」で認知症の恐れがわかった全ての人に、医師の診断を義務づける。これまで高速道路の逆走や信号無視などの交通違反をした人に限っていた。検査も3年に一度の免許更新時だけでなく、特定の違反をした時も課すようにする。免許停止・取り消し対象になる発症者の早期発見が狙いで、通常国会に改正法案を出す考えだ。警察庁が15日に公表した。

平成２８年中の
高齢ドライバー事故は
10 年前の約 1.3 倍！！

うちの
おじいちゃん、
おばあちゃんは
大丈夫かしら？？

医療法人　伊豆七海会
熱海所記念病院　お問い合わせ0557-82-3000